

特集

自分らしく生きる ～パートナーシップ・ファミリーシップ 宣誓制度を始めます～



ホームページ

協働推進課 ☎32-8025 FAX76-5702

エルジービィティー
LGBTなどの性的マイノリティ(性的少数者)を広く表現する言葉や情報に触れる機会が増え、さまざまな性を感じる人々の声が少しずつ社会に届くようになってきています。しかし性的マイノリティの中には周囲の誤った知識や偏見によって生きづらさを抱え、ありのままの自分で生きられない人もいます。誰もが自分らしく生きることができる社会を実現するためには多様な価値観を認め合うことが必要です。

市では10月からパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入。一人一人が互いを尊重しながら性の多様性を認め合い、誰もが自分らしく生きる社会を目指します。多様な性のあり方について考えてみませんか。



6色(赤、橙、黄、緑、青、紫)のレインボーカラーは性の多様性を表す象徴とされています。

性の多様性とは

人の性は「女性」「男性」の2つの性別だけでなく、一人一人の考え方や外見が異なるように実に多様で、一人一人違った性のあり方が存在します。このことは「性のグラデーション」と表現され、このグラデーションの中には性的マイノリティだけではなく私たちの全ての人が含まれます。全ての人を持つさまざまな性のあり方は4つの要素で説明されることがあります。

戸籍上の性

性的指向

自認する性

表現する性

■ 戸籍上の性(からだの性) Sex

からだのつくりや生物学的特徴によって、生まれたときに割り当てられる性別など

■ 自認する性(こころの性) Gender Identity

自分の性をどのように認識しているかということ。からだの性と一致する人もいれば一致しない人もいる

■ 性的指向(好きになる性) Sexual Orientation

恋愛や性的な関心や感情がどの性別に向いているかということ。恋愛をしない人もいる

■ 表現する性(性別表現) Gender Expression

自認する性や好きになる性の他に、自分らしい言葉遣いや服装、ふるまいなどに現れる性別のこと。「どちらでもない」性表現もある

性的マイノリティとは

「戸籍上の性」(からだの性)と「自認する性」(こころの性)が異なる人や、性的指向が同性あるいは両性に向いている人などをいいます。その総称の一つとして「LGBT」があり、LGBT以外にもさまざまな性のあり方を含み「LGBTQ」や「LGBTQ+」などと表現されることもあります。

2020年7月に全国20歳から59歳までの6万人を対象に

行ったインターネット調査(電通ダイバーシティ・ラボ LGBTQ+ 調査2020)によれば、LGBTQ+の日本人の人口比は約8.9%、11人に1人といわれています。この数値は左利きの人(約10%)、AB型の人(約10%)の人口と同じぐらいの割合といわれています。

【覚えておきたい用語】

Lesbian(レズビアン)

女性同性愛者。性自認が女性で女性を好きな人

Gay(ゲイ)

男性同性愛者。性自認が男性で男性を好きな人

Bisexual(バイセクシュアル)

両性愛者

Transgender(トランスジェンダー)

生まれたときに割り当てられた性別と、認識している性別が一致していない人

Questioning(クエスチョニング)

自分の性のあり方について分からない、迷っている、決めたくない人

+ プラス

「人を好きにならない」など性のあり方は多様であることを表現

SOGI(ソジ)

性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)の頭文字を取った言葉。性的マイノリティもそうでない人も含めたすべての人を表す

カミングアウト

自分が性的マイノリティであることなどを自ら他の人に打ち明けること。人に知られたくないことを告白すること

アウティング

本人の性的指向や性自認などの秘密を本人の同意なく他の人に明かしてしまうこと。本人の心身に深刻な影響をもたらすため絶対にしてはいけない

アライ(Ally)

英語で「同盟、支援、味方」を表す言葉で、性的マイノリティの課題を理解し応援する人

VOICE



当事者の声・保護者の声

性は個性であって、一つも同じ性は無く、差別を受けていいものではありません。成人式で先生に会いたかったのですが学生時代の辛い思い出もあり出席を断念しました。ありのままを否定されない、否定しない、自分が自分のままで自然にいられる世の中になってほしいです。

市内在住Aさん

子どもからカミングアウトされた時は「不安な気持ちを話してくれてありがとう」と思いました。この時はお互いに安心したことを覚えています。親も、学校の先生・生徒も、当事者も性の多様性について学んでほしいです。そして差別のない世の中になってほしいです。

市内在住Bさん

性の多様性について思うこと

人にはさまざまな事情があります。LGBTQの人々が生きやすいようになることが多様性ではないでしょうか。他人の考えを否定するのではなく、まずは知ろうとする人が増えてほしいです。

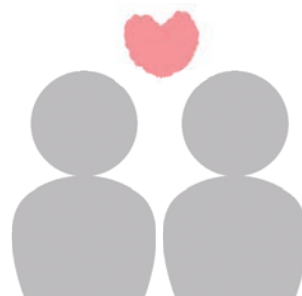
市内出身Cさん

みんな違って当たり前、お互いを尊重し合えるような環境を作っていきたいです。そして当事者の子どもたちが学校は自分らしさを表現してよい場所だという気持ちを持って過ごしてほしいです。

市内在住教職員Dさん

パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度

市民一人一人が社会のあらゆる分野において、互いの人権を尊重し合い、その個性を十分に発揮することができる社会の実現を目指して10月1日から「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」を始めます。パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度とは、双方または一方が性的マイノリティである二人が、お互いを人生のパートナーとして日常生活において継続的に相互に協力し合うことを約束すると市に宣誓し、これを受けた市が宣誓書受理証明書などを交付する制度。家族として生計を同一にする子どもなどがある場合、家族の関係性を届け出すことで受理証明書に記載されます。この制度は婚姻や相続などの法的効力はありませんが、二人の思いを尊重し自分らしく生活できることを応援するものです。



宣誓制度を利用できる人

パートナーシップ・ファミリーシップの宣誓ができるのは以下の全てに該当する人です。

- | | |
|---|---|
| ①双方が成年(満18歳)に達している | ⑤双方が近親者(民法で規定する婚姻することができない関係にある)でない |
| ②双方が市内に住所を有している、または一方が市内に住所を有し他方が3カ月以内に市内に転入予定である | ※ただし、養子縁組をしている・養子縁組をしていない場合は除きます |
| ③双方に配偶者(婚姻の届け出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む)がない | ⑥ファミリーシップ関係にあることも含めて宣誓しようとする者は、ファミリーシップ対象者と生計が同一である |
| ④双方とも他の者とのパートナーシップ・ファミリー | |

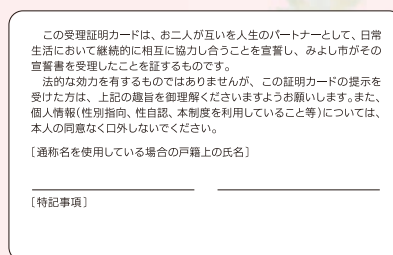
宣誓書受理証明書・受理証明カード



▲宣誓書受理証明書イメージ



▲宣誓書受理証明カードイメージ(表)



▲宣誓書受理証明カードイメージ(裏)

交付手数料は無料です。
ただし宣誓する際に添付が必要な書類の発行手数料は自己負担となります。



宣誓によって受けられる市の行政サービス

宣誓書受理証明書や宣誓書受理証明カードを提示することで利用可能となる市の行政サービスは以下のとおりです。



サービス	内容	担当課
要介護認定申請	要介護認定の代行申請	長寿介護課
保育所などの利用	入園申し込み、送迎など	子育て支援課
母子健康手帳の交付	妊婦が来所できない場合の代理申請	健康推進課
市民病院での入院面会、診療説明	入院面会、診療説明	市民病院
市営住宅	市営住宅の入居申請など	都市計画課

VOICE



パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入についてどう思う？

希望にもなり、救える制度だと考えます。しかし宣言を掲げても、周囲の理解や知識が無いと意味がないと感じます。理解も知識も、すべては教える・伝える教育が必要だと思います。

市内在住Aさん

この制度の導入によって多様な性を偏った見方をすることなく、差別なく過ごすことができるまちになってほしいです。

市内在住Bさん

導入することによって、目指したい、真似したいという人の存在は今後、子どもたちなどに大きな希望になると思います。

市内在住教職員Dさん

誰もが安心してみよし市に暮らせるようになるための第一歩だと思います。

市内出身Cさん

性的マイノリティの人がみよし市に住んでよかったと感じるとともに、市全体で性的マイノリティに対する理解が進むきっかけになると思います。

NPO法人Eさん